

平成 27 年 5 月 19 日

各都道府県作業療法士会
事務局長 様

第 19 回作業科学セミナー
実行委員長 小田原 悦子

「第 19 回作業科学セミナー」開催のお知らせと広報依頼

謹啓

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素より日本作業科学研究会の活動に格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝しております。

さて当会では、日本における作業科学の発展と多くの皆様に理解を深めていただくことを目的に、「第 19 回作業科学セミナー」を、11 月 28 日・11 月 29 日に静岡県浜松市にありますクリエート浜松にて開催することになりました。

つきましては、下記の通り貴会に本セミナーの広報をお願いしたく存じます。都道府県士会のメール配信、機関誌等で広報頂きたく存じます。

ご理解、ご高配賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 名 称 第 19 回日本作業科学セミナー
2. 開催期日 平成 27 年 11 月 28 日（土）、29 日（日）
3. 開催場所 クリエート浜松（静岡県浜松市中区早馬町 2・1）
4. 主 催 日本作業科学研究会
5. 参加人数 定員 300 名

※詳細は別添資料（趣意書・ポスター・プログラム）をご覧ください。

後日、別添資料の PDF ファイル（データ）を各都道府県作業療法士会のメールアドレスに送らせていただく予定です。広報にお役立て頂ければ幸いに存じます。

謹白

<お問い合わせ先：事務局>

聖隷クリストファー大学 リハビリテーション学部
作業療法学科 小田原悦子

〒433-8558 静岡県浜松市北区三方原町 3453

電話（研究室直通）：053-439-3204

メールアドレス：etsuko-o@seirei.ac.jp

趣意書

第19回 作業科学セミナー

日本作業科学研究会 (Japanese Society for the Study of Occupation) は、2006年に作業と作業的存在である人間を研究する「作業科学」の研究推進と学問的發展を目的として設立されました。日本作業科学研究会では、以下のような点を目的として活動しています。

- (1) 作業科学の研究や教育において最新のトピックの普及
- (2) 人の作業に焦点を当てた学際的な研究の促進
- (3) 作業科学に関する研究・教育・政策をめぐる様々なアイデアを、国内または国際的レベルで交換していくこと。

作業科学セミナーは、1995年に札幌医科大学の修士課程作業科学コースに端を発し、札幌で開催された後、浜松、大阪、倉敷、東京、福岡、沖縄、広島と全国各地で毎年開催されてきました。今回、10年ぶりに浜松で開催されることになりました。

セミナーは、講演や演題発表で構成されており、海外講師の基調講演、有識者による特別講演を含み、全国の作業科学者、広い世代の作業療法士や作業療法養成校の教員が参加しています。

作業科学は、人が毎日繰り返し行う作業を研究しており、その研究の臨床応用は人が健康な生活を送ることを促進します。諸外国では既に作業療法の基礎的学問として位置付けられており、よって、作業療法士の臨床知識の基盤となる学識であり、臨床応用可能な研究成果がセミナーおよび学術誌で発表されています。また、これらの知識は日本国民の健康に大きく寄与できるものと考えております。

記

テーマ：「Transition：人々の生活・人生における移行と作業」

会期：平成27年11月28日（土）、29日（日）

会場：クリエート浜松（静岡県浜松市中区早馬町2-1）

内容：

基調講演：Jeanne Jackson (University Cork College 教授 作業科学)

佐藤剛記念講演：浅羽 Eric (Karolinska 研究所)

シンポジウム：Mark Hudson (西九州大学 教授 人類学)、Kyla Matias(東京大学大学院 都市工学)
濱畑章子 (朝日大学 教授 老年看護学)、他

一般演題

参加費：

会員 (5,000 円)、非会員 (7,000 円)、学生 (2,000 円、大学院生を除く)、1日参加 (3,000 円)

主催：日本作業科学研究会

後援：静岡県作業療法士会、聖隷クリストファー大学保健福祉実践研究センター

以上

第19回作業科学セミナー 実行委員長
小田原悦子 (聖隷クリストファー大学)



Transition: 人々の生活・人生における 移行と作業



2015.11.28 (土) 9:00~18:30
~ 29 (日) 9:00~12:30

第19回 作業科学セミナー

Transition とは、人間の生活・人生における移行、変遷、過渡期を意味する言葉です。我々は、生活・人生で多様な出来事に会い、ライフクライシスを経験しますが、乗り越え成長してゆきます。次の段階へと作業の力で乗り越えていきます。そこに作業の力強さがあります。

作業療法士は、病気、障害、老いなど多様な状況にある人々に寄り添い、彼らがライフクライシスを乗り越えていくように援助します。作業的存在である我々は、人生の Transition をどのように越えるのでしょうか？

基調講演

「高齢期に意味ある存在を生きる」

Jeanne Jackson (University Cork College)

佐藤剛記念講演

「Transition: 移住、教育、就労を通しての考察」

浅羽 Eric (Karolinska 研究所)

シンポジウム

「Transition: 人々の生活・人生における移行と作業」

コーディネーター 近藤知子 (帝京科学大学)

シンポジスト 人類学 Mark Hudson

都市工学 Kyla Matias

看護学 濱畑章子

ワークショップ

「作業的写真」

西方浩一 (文京学院大学)

参加/一般演題申し込み

参加受付期間 2015.5.11 ~ 10.10

演題受付期間 2015.6.22 ~ 8.15

申し込み方法 日本作業科学研究会 HP で登録

<http://www.jssso.jp/>

参加費

会員 5,000円 非会員 7,000円 1日参加 3,000円

学生 2,000円 (大学院生を除く) 懇親会 5,000円

会場案内

クリエート浜松 (JR 浜松駅より徒歩 10分)

〒430-0916 静岡県浜松市中区早馬町 2-1

お問い合わせ先

第19回 作業科学セミナー事務局 太田麻梨江

E-mail: osseminar19@jssso.jp

実行委員長 小田原悦子 (聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部)

後援/静岡県作業療法士会 聖隷クリストファー大学保健福祉実践開発研究センター

第 19 回作業科学セミナー プログラム

プログラム

11/28 日 (土)	内 容
8:30~9:00	受付
9:00~9:30	開会式
9:30~11:00	佐藤剛記念講演 浅羽エリック Transition: 移住、教育、就労を通しての考察
11:00~11:10	休憩
11:10~12:10	口述発表 I
12:10~13:40	昼食：総会
13:40~14:40	口述発表 II
14:40~14:50	休憩
14:50~16:50	シンポジウム・“Transition：人々の生活・人生における移行と作業” コーディネーター：近藤知子 シンポジスト：Mark Hudson, Kyla Matias, 濱畑章子
16:50~17:00	休憩
17:00~18:30	ポスター発表
19:00~21:00	レセプション

11/29 (日)	内 容
8:30~9:00	受付
9:00~10:30	ワークショップ “作業的写真” ファシリテーター：西方浩一
10:30~10:40	休憩
10:40~12:10	基調講演 Jeanne Jackson “高齢期に意味ある存在を生きる”
12:10~12:30	閉会式